

平成 26 年度日本小児保健協会 第 2 回傷害予防教育セミナー（第 3 報）

わが国では、1960 年以降、0 歳を除いた小児の死因の第 1 位は「不慮の事故」となっています。最近では、事故死が死因の第 2 位になっている年齢層もありますが、子どもの健康問題として「不慮の事故」が大きな位置を占めていることは変わりありません。

事故による傷害の予防は重要な保健活動の一つですが、現時点では、「気をつけましょう」「目を離さないで」と言われているだけで、その評価はまったく行われていません。現実には、十分に気をつけていても事故は起こり、目を離さなくても、見ている目の前で起こるのが子どもの事故です。注意喚起だけでは、予防にはつながりません。WHO（世界保健機関）も、「見守り」「心構え」では子どもの傷害は予防できないと明言しています。

外因による子どもの健康被害を予防するためには、科学的なアプローチが不可欠です。このセミナーでは、科学的に評価できる方法で、事故による傷害を予防するための方法論、また実際に使用できるツールを紹介します。

学会の開催に合わせてセミナーを開催いたしますので、ぜひご参加ください。

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 岡田知雄
同 傷害予防教育検討会 委員長 山中龍宏

日 時：平成 26 年 6 月 20 日（金）14：00～16：30
（第 61 回日本小児保健協会学術集会開催時）
会 場：コラッセふくしま 3 階 小会議室 302
受講料：1,000 円
定 員：30 名（先着順・定員に達し次第 締め切り）

— プログラム —

1. 子どもの傷害の実態と傷害予防の考え方
2. 傷害情報の収集の実際
3. 製品や環境改善へのアプローチ
4. 意識・行動変容へのアプローチ
5. 調査、研究方法の実際
6. 子どもの安全用チェックツールの紹介
7. 傷害予防ワークショップ

申込み方法 : 別添申込書 (HP にフォーマット有)により電子メール又は FAX にて受け付けいたします。日本小児保健協会事務局

FAX: 03-3868-3092 Email: jsch-soc@umin.ac.jp

URL: <http://www.jschild.or.jp>

電子メールの方は、以下の件名をご入力ください。

件名 : 第 2 回 傷害予防教育セミナー申込み

*後日、事務局より FAX・メールにて**受付通知書**をご返信いたしますので、当日必ずご持参ください。

*受講料 (1,000 円) は当日ご持参ください。

公益社団法人 日本小児保健協会 事務局

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-5 第一馬上ビル 9 階

TEL : 03-3868-3093 FAX : 03-3868-3092

E-mail : jsch-soc@umin.ac.jp

当日連絡先 : 080-9029-1452

FAX 送信先(03-3868-3092)

第2回 傷害予防教育セミナー参加申込書

フリガナ ()

② 氏名 _____

② 連絡先 〒 _____ □ 勤務先 ・ □ 自宅

住所 _____

TEL ()-()-()

FAX ()-()-()

*FAXでお申し込みの方には参加通知書はこの連絡先に送信します。

③ 勤務先 _____ 部署 _____

④ 職種 保健師・助産師・看護師・医師・その他()

⑤ 会 員 _____ 非会員 _____

⑥ 会員番号 _____
(不明の場合は未記入でかまいません。)

公益社団法人 日本小児保健協会 事務局
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-5 第一馬上ビル9階
TEL : 03-3868-3093 FAX : 03-3868-3092